

# 熊本セントラル病院

内科、呼吸器内科、循環器内科、外科、整形外科、耳鼻咽喉科ほか



岩橋 頌二 整形外科部長

## 術中イメージング＋ナビゲーションシステムで 脊椎手術の身体的負担を低減

術中イメージング＋ナビゲーションシステムについて教えてください。

術中イメージング＋ナビゲーションシステムは、術中に移動式CTを使用し、患者の体内を3D画像化。その画像をナビゲーションシステムに転送し、リアルタイムに3D画像を確認しながら進める手術です。3D画像を確認することで、スクリー挿入などの手術手技を正確に、高い精度で行うことができます。この手術装置を、当院で推進している低侵襲（身体への負担が少ない）手術に応用しています。X線透視による被ばく量の低減にも寄与します。

どんな疾患で用いられますか。

幅広い疾患に対応していますが、特に脱臼や骨折を伴う外傷疾患、靱帯骨化症、脊柱管狭窄症の後方進入椎体間固

定術（PLIF）や側方進入椎体間固定術（OLIF）で使用されます。当院では、2024年度に1381例の整形外科手術の実績があり、そのうち、脊椎疾患が400例以上を占めます。

— 同機器が脊椎手術で使われる主な理由は、

金属を用いる脊椎手術では、神経や血管損傷などの合併症は重大です。同機器を使用することで、神経・血管の走行場所または腸管や尿管といった腹部構造を確認できるため、より安全により正確に手術することができ、低侵襲での手術が可能で、早期回復・早期退院が期待できるとともに、QOL（生活の質）の向上にもつながります。術中イメージング＋ナビゲーションシステムの詳細については、当院にお尋ねください。

### DATA

〒869-1102 菊池郡菊陽町原水2921

☎096(340)5001

受付 8時30分～11時

休 土・日曜、祝日、年末年始

HP <https://kchosp.or.jp>

上記以外の診療科目：消化器内科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、血管外科、脳神経外科、形成外科、リハビリテーション科

